

特定非営利活動法人まちづくり情報センターかながわ（アリスセンター）
役員の退任・選任

役員の退任【2002年10月1日～2004年9月30日】

理事

- 饗庭 伸（東京都立大学工学部建築学科助手）
菅原 敏夫（社団法人東京自治研究センター研究員）
川村 研治（環境パートナーシップオフィス・スタッフ）
平岩 千代子（民間シンクタンク研究員）

監事

- 早坂 毅（税理士）

役員の選任 2004年度【2004年10月1日～2006年9月30日】

理事

- 小島 聡（法政大学人間環境学部助教授）：再任
佐々木 晴修（シーエストレーディング合資会社無限責任社員）：再任
山口 郁子（中央労働金庫営業推進部次長）：再任

浅尾 貴之（MBA(早稲田大学大学院)、特定非営利活動法人サステナブル コミュニティ研究所理事・主任研究員、民間企業勤務）：新任

1970年神奈川県相模原市生まれ。九州大学大学院工学研究科卒業。現在、民間企業勤務

企業派遣で通った早稲田大学大学院に起業論を学ぶ間、社会起業家やコミュニティビジネスを対象に研究をしていたのがきっかけでアリスセンターとの付き合いが始まりました。現在の興味は、社会的活動や地域活動におけるマネジメントです。科学的な調査に裏付けされたデータにもとづいて議論し、行動することを心がけています。

水谷 衣里（東京都立大学大学院修士課程、アリスセンター客員研究員）：新任
1981年愛知県名古屋市生まれ。99年、都留文科大学社会学科へ入学。卒業後、03年に東京都立大学大学院社会科学研究科へ進学。アリスセンターに関わりはじめる。山梨県都留市という、人口3万人の地方都市で、地方・山間地でのまちづくりについて試行錯誤を続けてきました。地域の実情は、苦しくも面白く、これからの地域とくらしについて、真剣に考えるきっかけになりました。アリスセンターとは、NPOの政策提案力プロジェクトからのお付き合いです。「地域の現場から現実を考え、発言と行動をする」、このことを外さずに小さな実践を重ねていきたいと思います。

治田 友香：新任、2004年12月より着任
1967年生。建設会社、日本NPOセンター勤務を経て、2002年9月からシーズ＝市民活動を支える制度をつくる会プログラムディレクター。これまでにNPO/NGOに関する税・法人制度改革運動、企業の社会貢献プログラム開発・実施、自治体のNPO支援施策に関する動向調査、千葉県が行うNPO関連施策の推進などに携わる。神奈川県総合計画審議会部会委員。

谷本有美子（法政大学大学院政策評価研究所客員研究員）：新任、2005年4月より着任
東京生まれ。1987年4月から北区職員。リサイクル事業を通じた市民との協働事業、介護保険制度準備事務等に従事ののち、2002年3月退職。2002年から2年間、東京財団リサーチ・フェローとして地方自治制度の研究に着手し、現在も研究を継続中。その傍ら、これまでの経験を通じて、NPO法人や公益法人等の公共的な領域を担う団体と特に行政との問題についても関心を持っており、活動のフィールドとしている。

監事

細野由美子（税理士）：再任

堀 眞一郎（社会保険労務士・中小企業診断士）：新任

NPO団体などの人材管理や経営支援の実施
かながわ県民活動サポートセンター「マネジメント相談会」相談員
アリスセンターなどのNPO対象セミナー講師
神奈川新聞「NPO質問箱」人材管理担当
「NPOマネジメント」誌において「労務管理の実務」連載中
横浜産業振興公社登録「ビジネスエキスパート」
神奈川県社会福祉協議会とかながわ福祉サービス振興会のグループホーム外部評価調査員